

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 5 月 23 日

福岡県知事 殿

提出者

住所 福岡県福岡市
博多区祇園町2番1号
氏名 東急建設株式会社 九州支店
[Redacted Name]

電話番号 092-282-6110

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

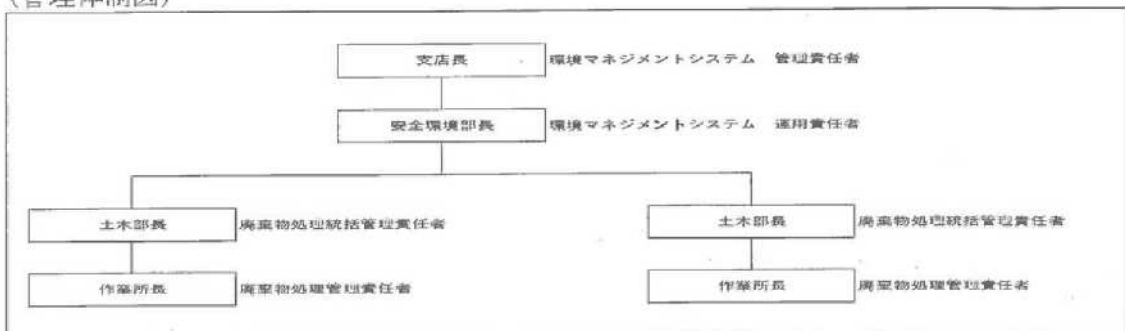
事業場の名称	東急建設株式会社 九州支店
事業場の所在地	福岡県福岡市博多区祇園町2番1号
計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D. 建設業
② 事業の規模	令和6年度完成工事高 95億円
③ 従業員数	令和7年4月1日現在 120名 (社員110名、雇員10名)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	各種廃棄物→極力分別収集し、処理委託会社で中間処理し再資源化、残渣物を最終処分 混合廃棄物→処理委託会社にて選別後、中間処理し再資源化、残渣物を最終処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	78 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	排出量	122 t	12 t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	排出量	195 t	34 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	がれき類
	排出量	206 t	10,206 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	排出量	5 t	24 t
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	
	排出量	0 t	t
(これまでに実施した取組)			
①分別、リサイクル施設への優先排出の徹底 ②分別化・エコ化・パレチ化・パレット化等の推進 ③梱包の簡素化（パレット及び専用コンテナの活用） ④減容化の推進（真空パック・発泡スチロール溶融）等 ⑤顧客に解体材（鋼材・木材・コンクリート）等の積極的再使用の提案 ⑥顧客に再生材（再生砕石等）の積極的利用の提案			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	55 t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	排出量	85 t	8 t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	排出量	137 t	24 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	がれき類
	排出量	144 t	7,000 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	排出量	3 t	17 t
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	
	排出量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
①分別ヤードの確保 ②効果的・効率的な分別の計画 ③計画に基づいた品目別分別容器の設置 ④わかり易い分別の表示 ⑤実施状況の把握			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	木くず・紙くず・金属くず・廃プラスチック・廃石膏ボード・建設汚泥・コンクリートがら・アスファルトがらは分別し再生資源として活用出来るよう取り組んでいる		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	上記に同じ		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	がれき類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
該当なし			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	がれき類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
該当なし			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず ^a
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず ^a	繊維くず ^a
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	がれき類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	該当なし		
	②計画	【目標】	
産業廃棄物の種類		汚泥	廃油
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t
産業廃棄物の種類		廃プラスチック類	紙くず ^a
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t
産業廃棄物の種類		木くず ^a	繊維くず ^a
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t
産業廃棄物の種類		ガラスくず等	がれき類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t
産業廃棄物の種類		安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t
産業廃棄物の種類		廃電気機械器具	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t
(今後実施する予定の取組)			
該当なし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 6年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	廃電気機械器具		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
(これまで実施した取組)			
該当なし			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	廃電気機械器具		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			
該当なし			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

		【前年度 (6年度) 実績】				
		産業廃棄物の種類		汚泥	廃油	
①現状	全 処 理 委 託 量	78	t	0	t	
	優良認定処理業者への委託量	68	t	0	t	
	再生利用業者への委託量	9	t		t	
	認定熱回収業者への委託量		t		t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量		t		t	
	産業廃棄物の種類		廃プラスチック類		紙くず	
	全 処 理 委 託 量	122	t	12	t	
	優良認定処理業者への委託量	122	t	12	t	
	再生利用業者への委託量		t		t	
	認定熱回収業者への委託量		t		t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量		t		t		
(これまでに実施した取組)						
①分別、リサイクル施設への優先排出の徹底 ②ブレイク化・エレット化・バネ化・ブランク化等の推進 ③梱包の簡素化(パレット及び専用コンテナの活用) ④減容化の推進(ダンボール圧縮・発泡スチロール溶融)等 ⑤顧客に解体材(鋼材・木材・コンクリート)等の積極的再利用の提案 ⑥顧客に再生材(再生砕石等)の積極的利用の提案						
		【目標】				
		産業廃棄物の種類		汚泥	廃油	
②計画	全 処 理 委 託 量	55	t		t	
	優良認定処理業者への委託量	55	t		t	
	再生利用業者への委託量		t		t	
	認定熱回収業者への委託量		t		t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量		t		t	
	産業廃棄物の種類		廃プラスチック類		紙くず	
	全 処 理 委 託 量	85	t	8	t	
	優良認定処理業者への委託量	85	t	8	t	
	再生利用業者への委託量		t		t	
	認定熱回収業者への委託量		t		t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量		t		t		
(今後実施する予定の取組)						
①分別の確保 ②効果的・効率的な分別の計画 ③計画に基づいた品目別分別容器の設置 ④わかり易い分別の表示 ⑤実施状況の把握						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

【前年度 (6年度) 実績】				
産業廃棄物の種類		木くず*	繊維くず*	
①現状	全 処 理 委 託 量	195 t	34 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	190 t	34 t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	5 t	t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		ガラスくず等	がれき類
	全 処 理 委 託 量	206 t	10,206 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	206 t	10,206 t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
①分別、リサイクル施設への優先排出の徹底 ②プラスチック・ユニット化・パレット化・プレット化等の推進 ③梱包の簡素化(パレット及び専用コンテナの活用) ④減容化の推進(ガソリン圧縮・発泡スチロール溶融)等 ⑤顧客に解体材(鋼材・木材・コンクリート)等の積極的再使用の提案 ⑥顧客に再生材(再生砕石等)の積極的利用の提案				
【目標】				
産業廃棄物の種類		木くず*	繊維くず*	
②計画	全 処 理 委 託 量	137 t	24 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	137 t	24 t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		ガラスくず等	がれき類
	全 処 理 委 託 量	144 t	7,000 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	144 t	7,000 t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			
①分別ヤードの確保 ②効果的・効率的な分別の計画 ③計画に基づいた品目別分別容器の設置 ④わかり易い分別の表示 ⑤実施状況の把握				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 3枚目 (9品目目から12品目目)

①現状	【前年度 (6年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	全 処 理 委 託 量	5 t	24 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	5 t	24 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	
	全 処 理 委 託 量	0 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	①分別、持ち出し施設への優先排出の徹底 ②アップ化・エット化・バネ化・ブレード化等の推進 ③梱包の簡素化 (パレット及び専用コンテナの活用) ④減容化の推進 (ダンプ・ボール圧縮・発泡スチロール溶融) 等 ⑤顧客に解体材 (鋼材・木材・コンクリート) 等の積極的再利用の提案 ⑥顧客に再生材 (再生砕石等) の積極的利用の提案		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	全 処 理 委 託 量	3 t	17 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	3 t	17 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	
	全 処 理 委 託 量		t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	①分別ヤードの確保 ②効果的・効率的な分別の計画 ③計画に基づいた品目別分別容器の設置 ④わかり易い分別の表示 ⑤実施状況の把握		